平成29年度　単位施策評価表

所属 19300000
生活環境部　環境課

施策	2202　衛生環境の充実					
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	余地有
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
対象	市民					
施策が目指す姿	都賀聖地公園の整備、既存墓園の適正な維持・管理、斎場の再整備の検討等を進める。					
成果指標	斎場・墓地に関する年間苦情件数…5年間で0件（現状値6件）					

目標達成状況

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
成果指標１	予定	6.00	5.00	3.00	2.00	0.00
[　件　]	実績	6.00	4.00	2.00	3.00	0.00
成果指標２	予定					
[　　]	実績					
	単位ｺｽﾄ					
成果指標３	予定					
[　　]	実績					
	単位ｺｽﾄ					
成果指標４	予定					
[　　]	実績					
	単位ｺｽﾄ					
ﾄｰﾀﾙｺｽﾄ（千円）	予定	512,397	505,103	450,148	565,930	598,798
	実績	469,094	476,710	432,668	581,421	578,706

内部評価

貢献度	上位施策の目標指標「斎場墓地に対する満足度」を50%に向上させるためには、年間苦情件数の減少が必要であり、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。
達成状況	墓地・斎場は、適正な管理・運営をすることにより目標を達成することができた。新斎場は、PFI導入可能性調査、環境影響評価調査等の業務を実施した。
課題	市営墓地は、現在空きがないことから、市民の需要に追い付いていない状況である。新斎場は、スケジュールを実現するため、事業発注に向けた事務を実施する。
取組方針	市営墓地は、適正な維持管理を行うとともに、拡張・新規整備の可能性を検討する。新斎場は、H33年度末供用開始を目標に事業発注等の具体的作業を進める。

外部評価

現在の斎場は、一日当たりの処理能力が限られており、「火葬の予約に苦慮する」、「待ち時間が長い」といった課題が見受けられるとともに老朽化も危惧され、新斎場の整備が待たれるところである。それまでの間は、維持管理に努め、業務に支障を来たさないよう万全を期していただきたい。
墓地については、市営墓地に空きがなく、拡張・新規整備の可能性を検討するとのことであるが、需要予測等の調査や現市営墓地の検証等を行った上で、慎重に判断されたい。
なお、当単位施策の成果指標については、適しているとは言い難く、今後、指標の設定を見直す際には一考願いたい。

単位施策達成のための事務事業

事業ｺｰﾄﾞ	名　称	ﾄｰﾀﾙｺｽﾄ(千円)	達成度
152201	聖地公園管理費	55,846	100
152301	斎場管理運営委託事業費	42,992	100
152701	墓園管理基金積立金	1,678	100
153003	墓地管理費（藤岡）	1,251	100
153004	墓地管理費（都賀）	966	100
153005	墓地管理費（西方）	1,527	100
155701	し尿収集事業費	825	100
155801	公衆便所管理費	5,495	100
156601	衛生センター管理運営委託事業費	212,459	100
744501	災害関係環境保全事業費	10,716	100

平成29年度　単位施策評価表

所属 19300000
生活環境部　環境課

施策	2202	衛生環境の充実		
単位施策達成のための事務事業	事業ｺｰﾄﾞ	名　称	ﾄｰﾀﾙｺｽﾄ(千円)	達成度
	748301	衛生センター施設長寿命化修繕事業費	95,277	100
	152601	斎場再整備事業費	46,021	63
	153103	佐野地区衛生施設組合斎場負担金	22,701	1
	153403	墓地永代使用料還付金（藤岡）	375	1
	153405	墓地永代使用料還付金（西方）	375	1
	156203	佐野地区衛生施設組合し尿処理負担金	80,202	1
	152101	聖地公園永代使用料還付金	0	0
	767701	とちぎクリーンプラザ施設保守整備事業費		0

平成29年度　単位　施策評価表　補表

施策	2202　衛生環境の充実		
区分	妥当性	妥当	衛生環境の充実についての評価は妥当である。
	コスト削減の余地	無	市民の生活に直結している事業であり、コスト削減の余地はない。
	受益者負担	適正	受益者負担については、今後検討の余地がある。
	上位貢献度	有効	基本施策の成果指標達成には貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	今後適切に事業を行うことで、聖地公園や墓園の適正な維持管理が見込まれる。
内部評価 **【H29年度分】**	貢献度	上位施策の目標指標「斎場・墓地に対する満足度」を50%に向上させるためには、年間苦情件数の減少が必要であり、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。	
	達成状況	墓地・斎場は、適正な管理・運営をすることにより苦情はなかったことから、目標達成となった。新斎場は、PFI導入可能性調査、環境影響評価調査等の業務を実施した。	
	課題	市営墓地は、現在空きがないことから、市民の需要に追い付いていない状況である。新斎場は、スケジュールを実現するため、事業発注に向けた事務を実施する。	
	取組方針	市営墓地は、適正な維持管理を行うとともに、合葬墓等の新たな埋葬方式の検討に併せ、拡張・新規整備の可能性調査を進める。新斎場は、H33年度末供用開始を目標に事業発注等の具体的作業を進める。	
内部評価 **【前期5年分】**	貢献度	上位施策の目標指標「斎場・墓地に対する満足度」を50%に向上させるためには、年間苦情件数の減少が必要であり、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。	
	達成状況	墓地・斎場は、施設の老朽化に対する要望はあるが、適正な管理・運営をすることにより、成果指標である苦情件数の減少が図れた。新斎場は、市民の意見を取り入れ基本計画を策定するとともに、新斎場建設候補地、事業方式などを決定し、建設に向け環境影響評価・測量等必要な業務を実施した。	
	課題	市営墓地においては、空きの区画がないことに併せ、承継を必要としない合葬墓等の整備を求める要望がある。新斎場は、スケジュールを実現するため、事業発注に向けた事務を実施する。	
	取組方針	市営墓地は、適正な維持管理を行うとともに、合葬墓等の新たな埋葬方式の検討に併せ、拡張・新規整備の可能性調査を進める。新斎場は、H33年度末供用開始を目標に事業発注等の具体的作業を進める。	